

中国：2011年上半期完成車輸出状況

米国向け前年比22.7%、200万台以上の大幅減

日本向けは12.8%増の521万台

中国税関発表による2011年上半期(1-6月)の完成車(電動車を除く)の輸出実績は、前年同期比2.1%減の2,848万台、金額では同14.2%増の15億118万USドルだった。

また、平均輸出単価(FOB)は2009年の50.1ドルから2010年は45.2ドルに低下したが、原材料、人件費等の製造コストの上昇や人民元高を反映し、今年は前年比16.8%高の52.7ドルとなった(表①)。

【表① 車種別状況】

(単位 台数:台、金額:US\$)

車種 (カッコ内の数字はHSコード)	2011年1-6月			2010年1-6月			A/B (%)
	(A) 台数	金額	単価	(B) 台数	金額	単価	
競技用自転車	96,630	24,324,001	251.7	65,124	12,163,883	186.8	148.4
MTB	4,645,478	415,678,896	89.5	4,855,164	361,225,403	74.4	95.7
16,18,20クロスカン トリー	3,542,798	107,762,333	30.4	4,592,550	123,412,234	26.9	77.1
その他のクロスカン トリー(87120049)	20,169	1,622,034	80.4	23,548	815,238	34.6	85.7
16インチ以下のそ の他の自転車 (87120081)	6,867,225	162,524,210	23.7	7,683,836	160,262,336	20.9	89.4
その他の自転車 (87120089)	13,080,563	781,552,368	59.7	11,615,268	648,570,935	55.8	112.6
その他の非自動足踏 み車 (87120090)	226,900	7,711,934	34.0	248,331	7,936,437	32.0	91.4
合計	28,479,763	1,501,175,776	52.7	29,083,821	1,314,386,466	45.2	97.9

輸出先別の特徴

1. 日本向けの状況

日本向け完成車(電動自転車を含む)の輸出台数は前年同期比12.8%増の521万台、金額にして同22.9%増の4億1,870万USドルだった。

「電動及び電動アシストのもの」が30.3%減少した以外は全ての車種が増加した。とりわけ最多の車種である軽快車を含む「その他の自転車(HSコード87120089)」は東日本大震災の影響だと考えられるが、前年比14.3%、台数にして57万台増加した。

なお日本向けについては、中国税関発表の輸出統計では「電動及び電動アシストのもの」(HSコード87119010)において電動アシスト自転車のほか、電動オートバイも含まれているが、日本市場における電動アシスト自転車の動向を把握する上で重要と考えられるので集計に加えた(表②)。

【表② 日本向け輸出状況】

(単位 台数:台、金額:US\$)

車種 (カッコ内の数字はHSコード)	2011年1-6月			2010年1-6月			A/B(%)
	(A) 台数	金額	単価	(B) 台数	金額	単価	
競技用自転車	9,055	1,744,006	192.6	8,196	1,453,777	177.4	110.5
MTB	226,413	23,071,534	101.9	218,950	20,839,352	95.2	103.4
16,18,20クロスカン トリー	28,849	1,574,400	54.6	27,848	1,491,174	53.5	103.6
その他のクロスカン トリー (87120049)	2,117	333,827	157.7	2,111	279,204	132.3	100.3
16インチ以下のそ 他の自転車 (87120081)	249,112	13,226,449	53.1	240,042	11,893,248	49.5	103.8
その他の自転車 (87120089)	4,562,970	367,617,110	80.6	3,992,066	290,193,651	72.7	114.3
その他の非自動足踏 み車 (87120090)	94,071	2,063,912	21.9	78,073	1,610,344	20.6	120.5
小計	5,172,587	409,631,238	79.2	4,567,286	327,760,750	71.8	113.3
電動及び電動アシ ストのもの (87119010)	33,768	9,085,343	269.1	48,472	12,808,909	264.3	69.7
合計	5,206,355	418,716,581	—	4,615,758	340,569,659	—	112.8

2. その他の輸出先について

単価は30、40ドル前後と低いものの、台数ベースではロシア、イラン、マレーシアがそれぞれ25.1%、24.4%そして20.1%と大きく増加した。また、韓国が13.8%、前述のように日本が13.3%(電動を含めると12.8%)と続き、特に韓国向け単価は67.1ドルと日本に次いで高くなっている(表③)。

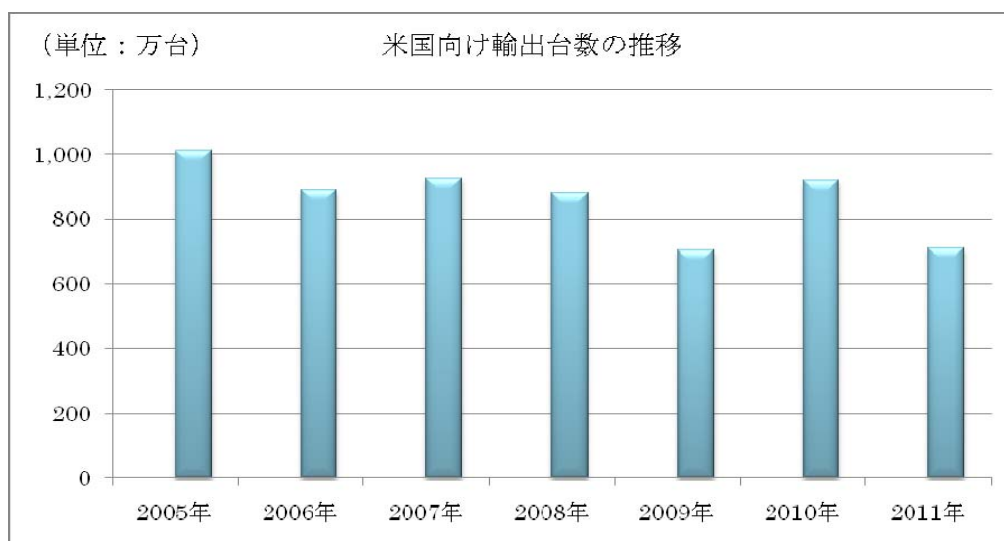
【表③ 輸出台数の多い上位10ヶ国(電動車を除く)】

(単位 台数:台、金額:US\$)

国名	2011年1-6月			2010年1-6月			A/B(%)
	(A) 台数	金額	単価	(B) 台数	金額	単価	
米国	7,102,267	410,809,411	57.8	9,186,752	437,002,562	47.6	77.3
日本	5,172,587	409,631,238	79.2	4,567,286	327,760,750	71.8	113.3
インドネシア	2,063,802	67,019,083	32.5	1,916,940	48,213,936	25.2	107.7
ロシア連邦	1,429,014	60,207,684	42.1	1,142,389	46,144,706	40.4	125.1
韓国	1,128,123	75,673,633	67.1	991,531	57,653,280	58.1	113.8
イラン	1,002,336	44,147,618	44.0	805,621	26,569,908	33.0	124.4
マレーシア	927,320	29,640,004	32.0	772,369	22,221,781	28.8	120.1
カナダ	795,218	48,259,500	60.7	762,461	38,705,288	50.8	104.3
インド	691,985	21,340,287	30.8	801,217	21,341,224	26.6	86.4
サウジアラビア	545,486	13,202,550	24.2	129,473	5,544,642	42.8	42.8

一方、最大の輸出先である米国向けの減少幅が金額ベースでは6.0%減に留まったものの、台数ベースで前年同期比22.7%減、約210万台も減少した。

2005年米国向けは1千万台以上あったが、その後は徐々に減少し下記のグラフ(データは各年の上半期分)が示すとおり漸減傾向を示している。



米国向けを車種別にみると、MTBが42万台減(前年同期比17.9%減)、BMXが該当する「16,18,20インチクロスカントリー」が85万台減(同39.3%減)、折り畳み車、子供車などの「16インチ以下のその他の自転車」が57万台減(同29.0%減)、そして「その他の自転車」が29万台減(同10.8%減)と、200万台以上減少した。

増加したのは競技用自転車等の従来輸出数量の少ない車種のみだった(表④)。

【表④ 米国向けの車種別】

(単位 台数：台、金額：US\$)

車種 (カッコ内の数字はHSコード)	2011年1-6月		2010年1-6月		A/B (%)
	(A) 台数	金額	(B) 台数	金額	
競技用自転車	65,595	16,082,236	36,351	7,789,301	180.4
MTB	1,924,331	182,737,823	2,344,447	183,128,893	82.1
16, 18, 20インチクロスカントリー (87120041)	1,312,386	42,827,511	2,162,465	60,574,039	60.7
その他のクロスカントリーバイク (87120049)	2,475	124,763	3,143	147,553	78.7
16インチ以下のその他の自転車(87120081)	1,398,237	32,955,782	1,968,408	41,046,338	71.0
その他の自転車 (87120089)	2,362,351	133,362,439	2,649,853	142,354,192	89.2
その他の非自動足踏み車 (87120090)	36,892	2,718,857	22,085	1,962,246	167.0

以上
(国際業務部)